

第7次京都府食の安心・安全行動計画 令和7年度施策の実績一覧

資料1－1

柱1 生産から消費に至る食品の安全性の確保（12項目）

（1）生産現場等の監視・指導

〔目指す姿〕生産現場等において、食中毒等による健康被害、食品の規格基準違反、食品表示違反等が発生しないことを目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
①	農薬使用者に対する適正使用指導	農業者に対して農薬の使用や保管状況を指導し、農薬に係る危害が発生しないことを目指します。	指導数 (回)	350	270	302	112%	農業改良普及センターの農家巡回及び農薬の使用計画や使用状況の調査・指導により、計画以上の実績を達成することができた。	農産課
②	全畜産農家に対する動物用医薬品等の適正使用指導	全ての家畜飼養者に動物用医薬品等を適正に使用させ、畜産物に残留させないことを目指します。	指導率 (%)	100	100	100	100%	計画的に巡回を行うことで、計画比100%を達成することができた。	畜産課
③	養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザ侵入監視のためのウイルス学的検査	養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザの監視検査と侵入防止対策を点検・指導し、本病を発生・まん延させないことを目指します。	検査率 (%)	100	100	100	100%	年間を通じて巡回指導と検査を行うことで計画比100%を達成できた。	畜産課
④	全水産養殖業者に対する動物用医薬品等の適正使用指導	水産養殖業者において動物用医薬品等が適正に使用されることを目指します。	指導率 (%)	100	100	100	100%	関係各所と連携した水産養殖業者へのきめ細かな指導により目標達成	水産課
⑤	二枚貝類の主要養殖海域における定期的な貝毒発生状況調査	貝毒の発生状況を監視し、食中毒が発生しないことを目指します。	調査数 (回)	76	72	198	275%	令和7年5月に下痢性貝毒が確認されたことから公定法検査に加え、プランクトン調査による貝毒の監視体制を強化したことにより、当初計画を上回るモニタリング数となり目標達成した。	水産課
⑥	農薬販売店への立入調査	農薬販売業者に対して監視・指導を行い、適正な販売管理の確保を目指します。	調査数 (回)	208	200	203	102%	年間計画を立てて立ち入り調査を実施することで、計画どおりの実績を達成することができた。	農産課
⑦	飼料等製造業者、販売業者への立入調査	府内飼料等業者において飼料等が適切に製造・販売されることを目指します。	調査数 (件)	14	13	13	100%	年間計画を立て実施することで、計画どおり計画比100%を達成することができた。	畜産課

（２）多様化する流通、提供形態に対応した監視・指導

〔目指す姿〕 流通・販売段階において、食中毒等による健康被害、食品の規格基準違反、食品表示違反等が発生しないことを目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
⑧	巡回指導による食品表示の適正化	食品表示違反が発生しないことを目指します。	適正表示率（％）	新規	100	100	100%	計画を立てて食品表示の巡回を行うことで、スーパー・小売店等の食品表示に対する意識を高め、実績を達成することができた。	農政課 生活衛生課 健康対策課 消費生活安全センター
⑨	食品表示における科学的検査	食品表示違反が発生しないことを目指します。	検査数（検体）	40	40	40	100%	定期的に検査を実施することで、計画どおりの実績を達成することができた。	農政課
⑩	新たに許可を受けた飲食店に対しテイクアウトやデリバリーを行う際に食中毒が発生させないための監視指導	テイクアウトやデリバリーによる食中毒が発生しないことを目指します。	指導率（％）	100	100	100	100%	新規営業許可手続きに合わせて、効率的に指導を行ったため、目標値を達成できた。	生活衛生課
⑪	食品衛生法に基づく食品等の収去検査	食中毒や食物アレルギー、食品の規格基準違反、食品表示違反などが発生しないことを目指します。	検査数（検体）	750	750	750	100%	年間計画を立て、着実に収去検査を実施したため、計画数を満たすことができた。	生活衛生課
⑫	野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導	野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導により、衛生管理の向上を目指します。	監視指導率（％）	100	100	100	100%	厚生労働省からの依頼により年に１度実施している衛生状況等に関する実態調査に合わせて効率的に監視指導を行っているため、計画数を満たすことができた。	生活衛生課

柱2 食品関連事業者の自主的な取組の促進（9項目）

（1）事業者との協働による食品の信頼確保

〔目指す姿〕 安心・安全な食品を提供する食品等事業者を育成し、消費者の食品に対する信頼確保を目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
⑬	農薬講習会の開催	農薬を取り扱う事業者に対して講習会を行い、農薬の適正な使用を目指します。	参加人数 (人)	314	290	310	107%	農薬管理指導士等に広く周知を行うことで、計画どおりの実績を達成することができた。	農産課
⑭	自主的な残留農薬分析の推進	府内産農産物の農薬に係る危害発生防止を目指します。	検査数 (検体)	140	124	125	101%	生産者団体等の計画的な残留農薬の分析実施により、計画どおりの実績を達成することができた。	農産課
⑮	HACCPの定着に向けた指導と食品衛生責任者の研修会開催	HACCP等、新しい法制度に食品等事業者が確実に対応できることを目指します。	開催数 (回)	26	25	24	96%	目標開催数25回に満たない24回の開催で未達となったが、府内各地で開催し、受講対象者が無理なく受講できる環境を整え、受講者数も昨年度と同水準を維持できたもの。	生活衛生課
⑯	食品関連事業者向け食品表示制度の普及啓発	食品関連事業者の食品表示制度に関する知識の向上により食品表示違反が発生しないことを目指します。	普及啓発 人数 (人)	153	130	251	193%	府内の商工会議所・商工会を始めとした関係機関やSNS等で周知を行うことで、計画以上の実績を達成することができた。	農政課 生活衛生課 健康対策課
⑰	きょうと 健康 おもてなし 食の健康づくり 応援店の登録	健康的で安全な食環境が整備されることを目指します。	延登録 店舗数 (店舗)	808	873	823	94%	情報収集を行うとともに、各種会議等で周知を行い、新たな登録店舗もあったが、登録を辞退する店舗が一定数あった。	健康対策課
⑱	食物アレルギーのある児童・生徒への個別の取組プランの作成率の向上	公立学校における食物アレルギー事故ゼロを目指します。	プラン 作成率 (%)	97	98	99	101%	計画的に研修会等を実施し、府のマニュアルに基づく個別の取組プランの作成を促進したことにより、全体として適切なアレルギー対応の体制整備が進み、今年度は目標を達成することができた。ただし100には至らず引き続き改善が必要な課題も確認している。	保健体育課

(2) 持続可能な農業の推進

[目指す姿] 持続可能な農業に取り組む生産者等を育成し、安心・安全な食品の安定供給を目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
⑲	京都府みどり認定の拡大	化学肥料・化学農薬の低減や温室効果ガスの排出削減等に取り組む農林漁業者の認定数の拡大を目指します。	延認定者数 (名)	368	600	420	70%	農業改良普及センターを中心に、認定周知や取得に向けた呼びかけや働きかけ（各種事業でのみどり枠の設定含）を積極的に行ったが、「前の認定（エコファーマー認定：認定期間5年間）からの更新の対象者が少なかったこと」や「近年の気象変動の影響により環境負荷低減取組の推進が難しい」等の理由により、計画未達となった。 一方、環境直接支払交付金に関しては、令和9年度以降、みどり認定が要件化されるので、今年度の認定数は260人程度増加見込である。	農産課 畜産課 林業振興課 水産課
⑳	特別栽培米など環境にやさしい農業の推進	環境への負荷を低減する「環境にやさしい農業」を拡大し、持続可能な農業の推進を目指す。	面積 (ha)	2,653	2,750	2,459	89%	農業改良普及センターを中心に取組推進を図ったが、環境保全型農業直接支払交付金での事業メニューの他交付金への移行（長期中干し・冬期湛水）や支援廃止（秋耕）、近年の気象変動の影響により環境にやさしい農業の取組での安定生産（品質維持や収量確保など）が難しい等の理由により、全体の取組面積が減少したため、計画未達となった。	農産課
㉑	気候変動等にも対応した安心・安全な府内産農林水産物の安定供給のための研究の実施	気候変動等にも対応した安心・安全な府内産農林水産物の安定供給を目指す。	件数 (件)	6	6	9	150%	農林水産技術センターの試験研究において、気候変動への対応を重点的取組事項として位置づけ、研究課題の設定および体制の強化を図りながら計画的に研究を実施した。その結果、収量・品質に影響を及ぼす要因の整理や高温対策技術の有効性の確認など、技術開発や現場展開につながる成果を得ることができた。	流通・ブランド戦略課

柱3 消費者への情報提供の充実と相互理解（7項目）

（1）府民と食品関連事業者の交流による相互理解の促進

〔目指す姿〕府民、事業者、行政の交流を通じて、食の安心・安全に関する相互理解の促進を目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
②②	食の安心・安全に関するリスクコミュニケーション等の開催	消費者、事業者、行政の交流を通じて、食の安心・安全に関する相互理解の促進を目指します。	参加者数 (人)	1,114	500	760	152%	ハイブリッド開催や、他イベントと併せて実施することで、計画以上の参加者を確保できた。	農政課 関係課
②③	学生等によるきょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成	将来を担う若者の食の安心・安全に関する意識の向上を目指します。	延登録者数 (人)	258	236	350	148%	家政系の大学以外にも積極的に働きかけることによって、養成研修の実施回数を増加させることができ、数値目標以上のヤングサポーターを養成することができた。 また、イベントのスタッフ参加を積極的に呼びかけたことにより参画が増え、食の安心・安全の意識向上を促進する機会が増えたことから、目指す姿を達成できたと考えている。	農政課
②④	府民の京都の食に対する理解促進に向けた「京の食文化の語り部」による講演会の開催	「京の食文化の語り部」の普及活動を通じて、食文化や府内農林水産物の魅力など、京都の食に対する理解促進を目指します。	受講者数 (人)	309	400	277	<u>69%</u>	オンライン動画視聴数が低迷したため。	流通・ブランド戦略課
②⑤	緊急時の食に関する対応研修会の開催	災害など緊急時においても安心・安全な食が提供され、食中毒や食物アレルギーなどが発生しないことを目指します。	参加人数 (人)	375	200	630	<u>315%</u>	ハイブリッド開催や、講習会の開催回数が増えたことにより、計画以上の参加者が得られた。	生活衛生課 健康対策課 農政課

（２）消費者ニーズに応じた正確な情報の提供

〔目指す姿〕多様化する消費者のニーズに応じて、食の安心・安全に関する正しい知識の普及を目指します。									
番号	具体的な施策	目指す姿	指標	参考値 R6実績	数値目標 R7	実績 R7	計画比 R7	達成又は未達の理由	主な担当課
②⑥	食の府民大学の動画講座の充実・利用拡大	インターネット上の講座「食の府民大学」を拡大し、府民の食の安心・安全に関する正しい知識の普及を目指します。	総動画再生数 (回)	85,617	90,000	103,597	115%	ホームページの更新や、SNSの発信を行うことで、１年あたり1.7万viewを獲得し、目標を達成することができた。	農政課 関係課
②⑦	京都府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりやすく紹介	府民・食品関連事業者への的確に情報提供し、府民の食の安心・安全に関する正しい知識の普及を目指します。	閲覧数 (回)	101,500	112,000	173,861	155%	新着情報を定期的に発信することで、目標を達成することができた。	農政課 生活衛生課 関係課
②⑧	SNS等様々な媒体を活用した適切な食情報の発信	SNS等を活用し、府民の食の安心・安全に関する正しい知識の普及を目指します。	閲覧数 (回)	27,241	22,000	29,630	135%	年間計画を立て、実施することで計画どおりの実績を達成することができた。	農政課 関係課